

# 千葉商工会議所景気動向調査

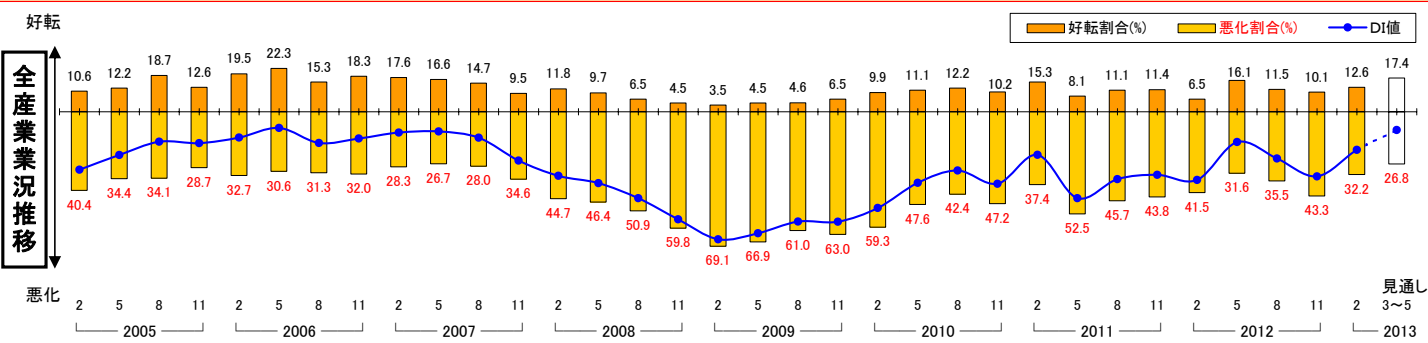
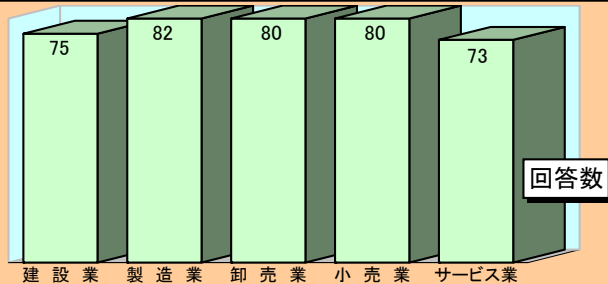
……平成25年2月期調査結果報告……

調査期間：平成25年2月12日(火)～2月27日(水)

調査対象：千葉商工会議所法人会員事業所 508社  
(回答 390社 回答率 76.8%)

DI値(景気動向指数)とは、売上・採算・業況などの項目についての判断の状況を表す。ゼロを基準としてプラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。  
従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味着。

DI値：(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)



## 【全体の特徴】

(▲はマイナス)

2月の業況DI(前年同月比ベース、以下同じ)を見ると、前回調査(平成24年11月、以下同じ)と比較して、全ての業種で上昇した結果、全産業合計DIは13.6ポイント上昇し▲19.6となった。また、向こう3ヶ月(3～5月、以下同じ)の先行き見通しでも、全ての業種で上昇した結果、全産業合計DIは現状より10.2ポイント上昇の▲9.4となった。

売上DIでは、前回調査と比較して、建設業、製造業、卸売業で上昇した結果、全産業合計DIは3.1ポイント上昇し▲16.3となった。また、向こう3ヶ月の先行き見通しでも、全ての業種で上昇した結果、全産業合計DIは現状より11.6ポイント上昇の▲4.7となった。

採算DIでは、前回調査と比較して、建設業、製造業、卸売業、サービス業で上昇した結果、全産業合計DIは6.8ポイント上昇し▲25.7となった。また、向こう3ヶ月の先行き見通しでは、製造業、卸売業、小売業で上昇した結果、全産業合計DIは現状より7.3ポイント上昇の▲18.4となった。

今回の調査では、業況DI、売上DIは3期ぶり、採算DIは2期ぶりの上昇となった。特に建設業で回復幅が大きく、業況DI、売上DIがプラスに転じた一方で、小売業の売上DI、採算DIは下降しており、業種間でばらつきが見られる結果となった。

## 【業種別特徴】

### ・建設業

前回調査と比較して、業況DI、売上DI、採算DIはそれぞれ24.5、11.7、9.8ポイント上昇の2.7、4.0、▲14.9となり、いずれも2期ぶりの上昇となった。向こう3ヶ月の先行き見通しでは、業況DI、売上DIは上昇、採算DIは横ばいの見方となった。

企業の声としては、「今後仕入単価が上昇すると予想される」「作業員不足が懸念される」など先行きの採算悪化を懸念する声が多く聞かれた。

### ・製造業

前回調査と比較して、業況DI、売上DI、採算DIはそれぞれ20.3、0.1、16.6ポイント上昇し▲18.8、▲20.7、▲26.6となった。業況DIは3期ぶり、売上DI、採算DIは2期ぶりの上昇となった。向こう3ヶ月の先行き見通しでも、業況DI、売上

DI、採算DIはそれぞれ上昇する見方となった。

企業の声としては、「今年(2013年)に入ってから、引き合いが増加している」など一部で仕事量増加の声があり、先行きについても景気浮揚を期待する声が多く聞かれた。

### ・卸売業

前回調査と比較して、業況DI、売上DI、採算DIはそれぞれ6.3、14.0、3.6ポイント上昇し▲27.8、▲12.8、▲26.9となった。業況DIは2期連続、売上DI、採算DIは2期ぶりの上昇となった。向こう3ヶ月の先行き見通しでも、業況DI、売上DI、採算DIはそれぞれ上昇する見方となった。

企業の声としては、「急激な円安による悪影響(仕入単価の急激な上昇)に苦しんでいる」「円安の影響により海外からの送金がスムーズになり、売掛金が減少している」など為替相場の変動による影響を指摘する声が多く聞かれた。

### ・小売業

前回調査と比較して、業況DIは6.5ポイント上昇し▲41.0となったものの、売上DI、採算DIはそれぞれ9.7、9.8ポイント下降し▲39.3、▲45.6となった。業況DIは3期ぶりの上昇、売上DIは2期ぶり、採算DIは3期連続の下降となった。向こう3ヶ月の先行き見通しでは、業況DI、売上DI、採算DIとも上昇する見方となった。

企業の声としては、「景気の悪い状態が続いている」「問屋、小売業ともに大苦戦している」など業況の悪化を訴える声が多く聞かれた。

### ・サービス業

前回調査と比較して、業況DI、採算DIはそれぞれ11.6、15.5ポイント上昇し▲11.1、▲12.5となったものの、売上DIは0.3ポイント下降し▲11.0となった。業況DIは2期連続、採算DIは3期ぶりの上昇、売上DIは3期連続の下降となった。向こう3ヶ月の先行き見通しでは、業況DI、売上DIは上昇、採算DIは下降する見方となった。

企業の声としては、「政権が変わったことで期待感がある」「アベノミクスが实体经济に反映されるか注視している」など政権交代に関連した声が多く聞かれた。

【調査結果のポイント】 \* 業況DI、売上DI、採算DI上昇も、業種によりばらつきあり

# 【全産業】

